

# 本校児童につけたい活用力

「活用力」とは「基礎的、基本的な知識・技能を習得・活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等」ですよね。



本校では、「課題をつかみ、解決をし、その考えを説明する力」と捉え、知識・技能の確実な習得と活用をめざす授業づくりの中で育てることにし、その可視化に取り組んでいます。

研究主題の「よく聴き、よく考え、わかりやすく話す子」は、本校がめざす子どものものであり、それは<課題把握と見通し・自力解決・学び合い・学習のまとめ>この一連の学習過程を前向きに進める姿でもあります。特に、リアルタイムでの伝達に必要な力は、「話す力」として、説明する活動に力を入れています。



以上を共通項として、各学年では発達段階と必要に応じてピンポイントで具体的な活用力の育成と可視化にも取り組みました。

学年	めざす活用力	可視化の手立て
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 操作や考えを算数的な表現で話したり、かいたりすることができる。</li> <li>● 習得した内容を活用して問題を作ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 算数ノート</li> <li>→ 作問</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 習得した内容を活用して問題場面を考えることができる。</li> <li>● 学習をふり返り、算数的な用語などを使って学習内容を表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 作問 算数ノート</li> <li>→ ふり返りノート</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 問題場면을今までに学習してきた方法や図などを使って考えることができる。</li> <li>● 算数的な用語などを使って、学習のふり返りをすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 算数ノート</li> <li>→ 単元後のふり返り</li> </ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 問題場면을解決するための考えの道すじを絵・図・文などで表すことができる。</li> <li>● 学習のふり返りを算数的な用語を使って自分なりにまとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ パフォーマンス課題</li> <li>→ 算数ノート</li> </ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 立式の前にそのわけを言葉や図で表現することができる。</li> <li>● よいと思う作品を選択し、その理由を明確に書くことができる。</li> <li>● 習得した内容を活用する問題場面を考え、表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ パフォーマンス課題</li> <li>→ 俳句鑑賞バトル</li> <li>→ 自学(ノート)の取り組み</li> </ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 単元後に生活に関連した課題を言葉・数・式・図を使って表現することができる。</li> <li>● 絵を見て想像を広げ、5年生で習った漢字を使って文や文章を書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ パフォーマンス課題</li> <li>→ &lt;漢字の広場&gt;での作文</li> </ul>